

適正規模・適正配置に関する各学校 P T A での話し合いに係る意見等

【第一中学校区】

＜第二小＞

- 1 現在の第二小学校の児童数や学級数について、どのように考えるか。
 - ・適切な学級数であると思う。現状に不満はない。
 - ・少ないと感じる。全学年3学級はほしい。
 - ・今より大幅に減るようであれば、複式学級よりも統廃合で生徒数を維持してほしい。
 - ・市全体の人口減少から見ても、児童数の減少は仕方ないことであると考えている。児童数に対し教師の人的配置の規定はあると思うが、クラスの数が増えるとういと考えている。
 - ・特別支援学級の児童数と教師（支援員を含む）の人数のバランスが悪いと思う。学年別にするなどした方がよい。
 - ・特別支援学級が2学級あり、きめ細かな指導がなされていることがありがたい。
- 2 将来に向け、一中学区内小中学校の規模や配置をどのようにすることが望ましいと考えるか。
 - ・地域に学校があることこそが重要であると感じる。学校のない地域からは、さらに子育て世代が減るため、小規模でも存続させるべきと考える。
 - ・慶徳小と豊川小、または、慶徳小と喜二小の統合の検討が必要。
 - ・段階的に、①慶徳小が二小に統合。②豊川小が二小に統合。
 - ・一中学区内の小学校でも複式学級となっている学校がある状況から、学校の統合も必要であると考える。しかし、登下校のことを考えると、本人、家族にかかる負担等、デメリットもあると考える。
 - ・今後の児童数の推移を見ると、小学校・中学校でしかできない『集団の中での学びの機会』がなくなってしまうことが心配。中学校で、好きな部活動ができず、子どもがやる気を失ってしまう…。団体種目が出来ず個人種目でしか大会に出ることができなくなるのは残念。
- 3 将来に向け、喜多方市内全体の小中学校の規模や配置をどのようにすることが望ましいと考えるか。
 - ・過小規模の小中学校は、社会性の向上や部活動などを考慮すると、統合する方向で考えるしかないのではないかと考える。
 - ・小学校は5～6校（一小・二小・塩川・+α）
中学校は5校（一中・二中・三中・塩川・+α）
 - ・旧市内は、小中共にナンバースクールのみにする。塩川・高郷・山都・会北は残す。
- 4 適正規模・適正配置について、今後の進め方、その他意見があれば。
 - ・地域での支え合いが必要な時代となり、市や社協でも担当部署ができている。自分の地域に学校がなくなってしまう方にとっては、統合は淋しく、子どもと地域のつながりが少なくなってしまうかもしれない。しかし、子どもたちが集団の中で学べる経験は貴重であり、その後の人生にも大きく関係してくると考える。統合には賛成である。その分、行政区単位での活動、地域の人との交流の場（老人クラブ・民生委員・サロンなど）に縦割りで参加するなどつながりを持ってほしいと思う。
 - ・地域の意見を聞くことは大事だが、何よりも子どもの教育環境や将来が優先されるべき。できる

だけ早く、トップダウンで決めることが必要。

- ・学校をどうするか？も、大事なことは思うが、「子育て」に関する支援、子育てしやすい地域にしていくことが出生数を増やし、ひいては学校運営にもよい影響を及ぼすものとする。

<豊川小> 平成30年7月5日(木)16:10～

- 1学年10人程度と少ない人数であるならば、統合するのも一つの方法である。その際はスクールバスが必要であろう。
- 現状の地域に沿った学校配置がよい。
- 先のことは、はっきりとわからないので、現状でよい。
- 学区を自由にして、小規模校、大規模校を子どもに合わせて選択できるようにするとよい。
- 学校保護者ばかりでなく、地域等、広く意見を聞いた方がよい。
- 統合した後の通学手段が心配である。
- どのような学校形態となっても、メリット、デメリットがあるので、どこで見極めるのかがよくわからない。
- 小学校のうちは小人数がよいのではないかと。現状を希望する。手厚く指導をしてほしい。中学校を統合していくのが、発達段階に合っているのではないかと。

<慶徳小> H30.7.11

「意見」

- 各学校それぞれの良いところなどを取り入れたり、行ったりも必要なのかなと思う。行事等も含め。
- 私も対策は必要ないと考えている。生まれ育った地域への愛着、友達への思いやり、先生方や保護者同士の信頼関係など、あげればきりが無いほどのメリットであふれている。子どもたちをとりまく環境は、大勢いる学校とはまた違った、良い点ばかりである。ぜひそこに目を向けていただきたい。
- それぞれの地域の歴史や文化等も課題にはなるかと思うので総合的に適正化をしていただきたい。
- 適正規模と言われても、どれが良いとはわからないが、子どもの負担が大きくなるようにしてほしくない。
- 小学校は、地域とのつながりなどを大切にしているので、小規模でも問題はないと思う。極端に人数が少ない所は、統合も考える必要があると思う。中学校は、やりたい部活ができるように統合した方がよいと思う。
- 合併や統合の必要はない。
- 学校活動は、多い人数の方がいいが、地域活動を考えると、安易に合併と言うのも難しい。
- 少人数の利点もあるが、中学校・高校と進学していくにつれ、人数が少ない学校という事で不利な点も出てくるのではないかと。統合するならば、早めの方がよいと思う。
- 人数が少ないなら少ないなりに、子どもたちのまとまり、保護者の多数参加のよい面がたくさんあると思う。協力性が強くなったり、環境の良さなどから、子どもたちの気持ちも変わるのではないかと。小学校の統合は必要ないと思う。
- 地元小学校があると、地域の中心がなくなるのでできるだけ残して行ってほしい。

- 今の学校が好きな様なので変わる事は不安を感じるが、時代の流れなら仕方がないと思う。子どもを第一に考えて動いていただければと思う。
- 少子化が進むが、できるだけ慶徳小学校がそのまま続いてくれることを願っている。
- 小規模校でも、勉強ができて理解し、ルールやマナーを学べれば良いと思う。

「疑問点」

- 考える必要があると思うが、じゃあ具体的にどうするかなどは分からない。
- 各地区でのアンケート結果説明会開催があるようだが、肝心の小学校の保護者は開催されることを知らない。開催の意味はあるのか？

<第一中>

1 実施期日 平成30年7月8日（日） 10:50～11:10 体育館

2 意見等

- 小規模校は、その学校の良さがある。人数・経費の面もあると思うが地域住民の感情等もあるため、統合には慎重にならなければならないと思います。地域から学校がなくなるということは、住民にとっては大変なこと。
- 適正規模・配置という名の下に統合をすすめないでほしい。子どもにとってよりよい教育環境とは、地域に小学校が存在することです。
- 子どもたちの教室があつくて見ている親も教室には入れないくらいなので、是非夏本番までにクーラーなど涼しくなる設備があるといいです。

【第二中学校区】

<第一小>

過日のPTA常任委員会にて全員（33名）のご意見を頂きました。以下の通りです。

<賛成>

- 1 小規模校の複式学級はなくした方がよい。
- 2 教育にはある程度の人数が必要である。
- 3 小さい学校は統合した方がよい。
- 4 子ども園も合併している。
- 5 遠いところから歩いて通う子がかわいそうだ。
- 6 統合に賛成だが、跡地の利用が課題だ。
- 7 小規模校だとPTAが回らないから統合が必要だ。

<反対>

- 1 一小では統合する必要はない。
- 2 育成会が地区になくなる可能性もある。
- 3 小規模校にもよさがある。

<中間意見>

- 1 小規模校 大規模校 それぞれのよさがある。決められない。

<疑問点 学区の問題>

- 1 一小は二つの中学校に分かれるのが疑問である。小学校での友達がそのままそろって 中学校に進学させたい。そう考えると小中一貫校がよいのではないか。

<その他>

- 1 大問題なのだと初めて気づいた。
- 2 一小にはあまり関係がないことだと思われる。

<松山小> 7月12日(木)実施

- 将来的に統合が必要と思われるが、今のところ考えていない。
- 家庭への配付資料から、小さな学校の心配している状況が伺える。複式学級の解消が必要ではないか。
- 小規模な統合よりも大規模な統合を考えてもらいたい。会津坂下町や西会津町のような思い切った統合であってほしい。学校数が少なることにより、教育予算を考えると、設備等教育の充実が図れるのではないか。
- 数年後のことではなく、20年後、30年後を想像した統合を考えてほしい。
- 統合すれば、通学距離・時間も変わり、登下校の安全面が心配される。
- 統合して新しい校舎を建設するのか、それとも現在ある校舎を活用するのか。

<上三宮小> 7月13日(金)上三宮小体育館>

選択肢は2つだと思っています。1つは上三宮小学校を残して今まで通り通わせること。もう一つは松山小学校と統合することです。小中一貫校や義務教育学校についてはまるっきり分からないのでくわしい資料などがあればいいです。(4年生と1年生:姉弟の保護者)

同学年に2人しかいないので(異性2人)、同性の同級生をつくってあげたいと思っています。このような話がもう少し早くあって、対処できればよかったですと思います。上三宮小学校はいい学校なので残って欲しいとは思いますが、中学校から輪に入っていけるのか心配ですので、統合してほしいと思います。(5年生と来年度入学予定児童の保護者)

統合して、途中から親も子も知らない学校に行くことには、大きな不安を感じるので、在学している子どもたちはそのまま上三宮小学校に通い、新入生から新しい学校に通うのがいいのではないかと思います。(4年生と2年生:兄妹の保護者)

私はこのまま小規模の学校で良いと思います。大きい学校でたくさんの友達を作るとはすごく良いと思います。でも、市内の学校に通っている方から話を聞くと、中には小さい学校に通わせたい父兄もいます。それは、学習面と子どもどうしの関係です。やっぱり大きい学校だから良いということではないと思います。学校の役員も大変ですが、私は上の子のときから楽しんでやっています。ここでしかやれないこと、子どもたちも少ないから自分の子ども同様に話もできるし、注意することもできる。私も小さい学校だったのですごく良かったです。私は上三宮は最高の学校だと思っています。(4年生保護者)

親や子どもの母校がなくなるのはさみしく、出来る限り残してほしいと思いますが、今後さらに生徒数が減ることを考えると、子どもたちの経験できることも限られてしまうので、統合または新たな学校の配置が必要だと思います。事前に他校との交流を増やしていただき、保護者、子どもの不安を軽減してもらえると良いです。(6年生保護者)

上三宮小学校では人数が少なすぎるので、学校生活運動においても普通の学校のようにいかない心配があります。統合して人数が多い学校に通わせたいと私は思っています。上三宮小と松山小だけではなく、熱塩など他の小規模の学校と統合できれば良いと思います。第一小学校は同じ小学校なのに中学校で別々になるのはかわいそうなので、そこも考えてほしいです。(4年生の保護者)

中学校は今のままで良いと思う。

小学校は合併が必要。学級運営、PTA運営にも支障をきたしていると思う。

合併するなら、新しく学校を建てた方が良いと思う。

バス通学、児童館の整備も同時に必要だと思います。ただ、地域に学校が存続して欲しいという希望はあるので、インターネットを駆使した授業などを取り入れてみては？(6年生の保護者)

地区の子どもが少ないうえに、学区外へでてしまうご家庭も増えており、これからもどんどん入学する子どもが少なくなっていくばかりで、複式となってしまいます。

少ない人数で、子ども同士の関係性は良く、一人ひとりに目が届く利点もありますが、行事等や陸上競技などが難しくなるため、子どもが増えないのであれば統合も必要と思います。

(3年生の保護者)

規模やスタイルより以前に、市として教育の何に力を入れ、どのような教育を目指すのか？市民としても保護者としても分からない。それを決めた上で、規模やスタイルを考え、議論していく事が望ましいと思います。市の方針に沿わなければ他の地域や学校に行けば良いだけ。

前回、市の説明会で開口一番に「質問は一切受け付けません」と言われ、ただ単に形だけでも説明会はやりました的な市教育委員会のやり方に失望と憤りを感じました。これまでの縦割り行政ではなく、民間も巻き込んだ教育への取り組みと同時進行で規模やスタイルを変えていくことが必要であると思います。パフォーマンスだけならやらなくて良い。これまで同様、対処だけしていけば良いと思います。

適正規模とは何に対してでしょうか？確かに運動会やドッジボール、バスケットボール、競い合うことに対しては少人数ではと思うことがあります。しかし、勉強(学問)に対しては正直、人数がいなくても可能だと思います。教員(与える側)の問題ですよね。田舎の少人数の子どもたちが学力が低いのではなく、与える側にも(与える側の能力)にも問題があるのではないのでしょうか？適正規模や配置が必要であれば決定事項として行うべきではないのでしょうか？反対意見が一人でもいれば行わないというなら別ですが…。(4年生の保護者)

小学校は人数が少なく大変困ってます。統合をしてほしいです。もちろんスクールバス対応で。

中学校もスクールバス対応してほしい。(4年生保護者)

生徒数も減っていくため、統合または新たな学校の配置は必要かと思う。そうなった時には、事前に他校との交流の機会をふやし、子ども、保護者の不安を軽減できるようにしてほしい。私の子どもの頃は、三中学区の小学校4校で、宿泊学習や修学旅行にも行き、中学入学時には互いに顔なじみとなっていたので、大きな不安もなく過ごすことができました。（6年生保護者）

小規模校から中学校へ進学すると生徒数の多さで萎縮する生徒もいると聞いています。できれば小学校から人数が多い方が良いのではと思います。成長する上でいろいろな意見を聞き、自分なりに考えをまとめる力をつけなければならないので統合は良いかと考えます。（6年生保護者）

<第二中>

小規模校では統合を望む傾向があるが、大規模校では喫緊の課題とは感じていない。

統合を望む理由：

- 1 人数が多い学校だと、部活動など子どもが好きなものを選べる可能性があり、子どもの選択肢を広げることができる。
- 2 複式学級だと学習が十分に進まないのではないかと親としては不安になる。
- 3 人数が少ないと子ども同士の競争心がなくなる。

ただし、統合に関しては年代によって意見が分かれるところである。若い人は統合すれば、上記の問題が解決すると考えるが、年配の方は、統合することによって、地域の活気がなくなるのではないかと心配しており、統合に関して意見をまとめるには時間がかかると思われる。

【第三中学校区】

<第三小> 7月13日15:10~16:00 懇談会

- ・喜多方市全体としては、検討していくことも大切である。
- ・三小としては、統合8年目であるが、さらなる統合は考えていない。というご意見が多数でした。

<関柴小>

- ① 保護者の方々から出された意見
 - ・このままでよい。
 - ・できれば合併せず、単独で。
 - ・地域の方々に見守られて成長している。地域から学校がなくなるのはさびしい。
- ② 保護者の方から出された疑問点
 - ・現段階でどの程度人数が減り、どのような規模になるか分からない。

<熊倉小>

(熊倉小学校 保護者用) 6/22~6/29

〃 話し合い 7/10

※アンケート結果と話し合いの回答を含めて記録しています

1 現在の熊倉小学校についておたずねします。

1) 熊倉小学校の学校環境が子どもに与える影響をどう思いますか？

○良い点

- ・少人数クラスなので 先生の指導が行き届きやすい ていねいに教えてもらえる
- ・少人数なので学習の進み具合がわかりやすい 個々の学力がアップできる
- ・少人数で学習塾と同じ程度の密度で学習することが可能なため 能力の高い子供どもが非常に多い
- ・先生がひとりひとりていねいに教えてくれ 苦手なことが わかるようになっている
- ・先生がひとりひとりに目標を持たせ 学習に取り組めている
- ・先生との関わりも身近に感じられ 何でも相談できる環境である
- ・子供達の関係も 何かあってもすぐに解決され いじめも少ないと思う
- ・あいさつができる
- ・教室がギュウギュウ詰めでないのも のびのびした子供になれると思うのでよいと思う
- ・他学年との交流が多く 学べることが多い 縦のつながりができる 全員が仲良くなれる
- ・団結力がある
- ・オンリーワン重視の指導
- ・個の力を伸ばしてもらえる
- ・子供一人一人の活躍が見えやすく、苦手意識の高い子にも寄り添う教育ができています
- ・他学年との縦割りの交流が多く持てるので 将来的に幅広い考え方ができるようになる
- ・児童同士の仲が良く、協力し合うことが上手である
- ・アットホームでよい
- ・先生と児童が仲良く接している
- ・全児童が 食堂で給食を食べるといのは 下学年にとっては 初めての給食当番でも上学年のお手本を直接目にできるし 児童全員で食事ができるのは とても楽しい時間なのではないかと思う
- ・授業参観で見やすい
- ・子供が先生や保護者を知ることができ (〇〇さんのおかあさんなど) 安心だ
- ・保護者のまとまりがある
- ・パソコンや卓球台を使える (楽しい)
- ・あいさつ・はっぴょう・もくひょうがしっかり定着している
- ・地域密着で子供の心が養われている
- ・先生がこまめに学校での子供の様子を知らせてくれるので安心できる
- ・家から歩いて通学できる
- ・地域の人達が子どもを見守ってくれる
- ・祖父母・親が通った学校に通える
- ・地元を愛し 地元を楽しむ親が活躍するPTAは 子どもにとっても地元を愛し 将来 熊倉に残る選択肢になるのでは？

●悪い点

- ・競争心が育ちにくい 身につくか心配
- ・これから先の環境整備 (掃除など) 人手が必要になる
- ・人数が少ないので 体育の授業で種目が限られてしまう (団体競技ができない)

- ・学習や運動のレベルなど視野がせまくなっているように思える
- ・集団活動に制限がある
- ・比較する対象が少ないため 「井の中の蛙」状態である
- ・クラス替えもなく小さな社会で過ごしている為 中学校で大勢になった時の対応能力に欠ける
- ・一度クラスでトラブルがあると クラス替えがないため 卒業まで長く学校生活が難しくなる
- ・登下校の際 一人になる距離が長い
- ・遠い
- ・幼稚園が閉園になったことで 未就学児の小さな子供と触れ合う機会が減ってしまい残念に思う
- ・校庭が少しせまい
- ・行事の盛り上がり欠ける
- ・選択肢が少ないので 子どもの可能性を奪っている（クラブ活動など）
- ・児童が少ないと いじめ・いじわるされたりするとすぐ目立つ その分助けやすいかも
- ・良くも悪くもすぐ目立つ
- ・先生への負担が大きい フォローが不足していると思う
- ・保護者のまとまりが良すぎて 反対意見が出しにくい
- ・PTAの役員での割り当てが多い
- ・学習面で学力が低いのではと感じる 苦手な教科があるよだ（うちだけ？）
- ・子供達の順番が決まってしまう
- ・クラス替えがないので人間関係が固定化されてしまう

2) 地域との関わりや環境が、学校・子どもに与える影響をどう思いますか？

- ・密接な関わりがあることで 地域愛が生まれて良い
- ・地域の方々が学校に対してとても協力的で良い
- ・体験の時 協力してくれる方が多く 子どもたちも安心して尊敬の心を持てる
- ・小規模校ならではのメリットが良い意味で出ていてよい
- ・結びつきが強い
- ・近所との関わりが少なくなった時代なので いろいろな方との交流は子どもたちにとって大きな豊かさを与えてくれると思う
- ・地域の方々とあいさつや交流することにより 核家族の子供達もお年寄りなどへの関わりを持つことができる
- ・子供達が安心して学校へ通える
- ・地域の方は 自分の子供や孫のように接してくれていて 子どもたちは その暖かい心にやさしく応えるようになってきていると思う
- ・心が豊かになる
- ・守られている安心感から 素直に育つのでは？
- ・良いと思うが 密になりすぎているように思う
- ・地域との関わりや環境は 子どもにとって大事だと思うこともあるが 時にそれが全く良いとは言えない事もあるので 何とも言えない
- ・良い部分が多い 一方で慰労会や反省会が多く 子どもより親がメインになっている
- ・児童の減少が進めば 地域との関わりが薄れていくと思う

- ・その子の成長 特に心の成長につながっていると思う
- ・大きいと思う
- ・子供たちの教育に大いに影響している
- ・自然が多い中 生き生きと育つ環境
- ・地域の方々が色々と協力してくれているので 子どもたちは恵まれている
- ・知らない事を知る・体験する機会も多く 人にやさしくなれたり良い面が多い
- ・地域の中の学校という位置づけなので 非常に大きい
- ・地域の核となる学校がなくなると 地域は衰退する
- ・感謝の気持ちが養えるので良い
- ・時代の流れなので特にない
- ・家庭だけでは教われない事を教えてもらったり 見守ってもらえたりできる
- ・家族以外の大人との関わりはとても大切だと思う
- ・地域の文化や特色を学び 自分の生まれ育った土地の素晴らしさ知ってほしい
- ・地域との関わりは大切
- ・地域の方との関わりや畑など 勉強以外での成長もよいと思う
- ・なごみ学級や畑の支援員の方達も 熊小があることで 生き甲斐につながっているし子供にとっても地域の方々との交流は大事

3) 登校についてどう思いますか？

- ・距離が長いので 慣れるまで大変なところがある
- ・班の人数が極端に少ないところは 親としても心配な面もある
- ・冬期間だけでもデマンドバスの距離制限を緩和してほしい
- ・現在は数人で登校しているが 数年後には1人で登校の可能性があるので不安である
- ・歩道がすべてできていないため危ない
- ・スクールバスを検討してほしい
- ・近いので良い
- ・1人になるところが長い 人もいないことが多いため心配
- ・雄国地区以外もスクールバスがあった方がいいと思う
- ・バスなので安心
- ・高学年の子が少ないので 行事等でいない時 低学年だけで通わせてよいものか心配
- ・熊が出ると心配ですが 今まで通り集団登校が良い
- ・歩くには遠いので 登校中の田んぼ道や熊など心配
- ・特に問題なし
- ・集団登校に意味があるのか 自分はしたことがないのでわからない
- ・統合すると登校が不便になる 子どもにとって負担になる
- ・定期的なあいさつ運動が行われており良いと思う
- ・徒歩登校はよいと思う
- ・地区をこえて集団登校に混ぜてもらえて感謝している
- ・車ではなくなるべく徒歩で
- ・集団登校とはいえ 近くに子供がいないので 現状 車で送っている状態
- ・不便ではあるが 体力がつく

- ・雪の時や熊出没などの対応の改善も必要
- ・集団登校をしていることにより 安全を確保しつつ 上級生の指導力及び下級生の集団行動の向上が図れている
- ・熊や不審者など増えてきているので 遠い地区に関してはバス通学にしてもよいのでは
- ・冬や悪天候の時の送迎が困るので スクールバスがあると助かる
- ・登校中 上級生が注意しても下級生が言うことをきかない
- ・市内などでは 集団登校していない所もあるが 昨今の事件事故などを考えると集団登校の方が安心ではあるかと思う
- ・少人数なのでバスを利用してもよいと思う
- ・友達と歩いて登校する中で いろいろ体験してもらいたいが 自然（熊など）の怖さや環境の不安がある

4) 現在の熊倉小学校に必要なと思うことはありますか？

- ・一人一人の得意分野を見出すことのできる選択肢の確保
- ・通学路の整備
- ・洋式トイレを増やしてほしい
- ・担任の先生に関わらず 先生と生徒の信頼関係（子供たちから先生に対する不満が聞こえる）
- ・色々なクラブがあると良いと思う（スポ少？部活？吹奏楽とかバレーとか）
- ・体育授業でのスポーツ（卓球、バスケット、バドミントンなど）
- ・他の学校との交流
- ・アットホームな雰囲気も大切ですが 学校としての本来のあり方
- ・子供の人数
- ・PTAの役員も 人数を少なくし それに合った活動にする
- ・人数が少ないので 他校との交流や交換留学など 環境のメリハリをつけてみる
- ・他校の児童と比較して 自分たちがどのくらいのレベルであるのかを把握できていないので各種イベントには参加するべき
- ・地域の暖かい目
- ・もっともっと子どもを叱ってやってほしい 怒るのではなく ダメなことはダメとビシビシやってほしい
- ・メンタルの強い先生
- ・子供の弱さや問題点などを親と密に向き合い 解決していくべき 等の親が知らないことが多い

5) 地域にとって、熊倉小学校はどんな役割をしていると思いますか？

- ・町民の思い出が詰まった大事なところ
- ・地域にとって熊倉小学校は創立 144 年と歴史と伝統の小学校です。
- ・なくてはならないと思う 地域から子供の声が消えてしまっはさみしいと思う
- ・祖父母の頃からあるのでそば打ちや竹細工などの経験ができ世代間交流ができる
- ・中心的な役割 熊倉町のシンボル
- ・熊倉町の元気の源 お年寄りに元気を与えている
- ・地域の方と子供たちをつなぐ役割を果たしている
- ・重要な役割

- ・子供たちの笑い声 笑顔 あいさつは地域の宝を担っている
- ・明るくしている
- ・安心して子供を預けられる環境のある場
- ・わからない
- ・イベントの中心
- ・子供達が明るくあいさつしたり 地域の方々と活動したりすることは 地域の方にとっても活力になっていると思う
- ・町主催の行事 学校主催の行事共に熊倉小学校が交流の場になっており 地域の活性化に役立っている
- ・子供の教育
- ・子供の存在を確認し 将来の期待が持てる
- ・町を笑顔にしてくれる
- ・幼稚園が無くなり子供たちの声がどんどん少なく聞こえなくなってしまうのはとてもさみしい 地域が活気ある為にも小学校は必要
- ・子供がいることは良いと思う 校庭を見るおばあちゃんたちにも生き甲斐になっていると思う
- ・小さな町の大きな希望 安心のシンボルマーク

2 自分のお子さんを通わせたい学校は、どんな学校ですか？

- ・熊倉小学校
- ・6年間の学校生活を大人になっても忘れないくらい思いで深い学校に通わせたい
- ・安全で安心できる学校
- ・いじめのない 子供同士が仲のいい 安心して通わせられる学校
- ・毎日楽しく安心して通える学校
- ・子供自身が毎日楽しんで学校生活を送れる学校
- ・熊倉小学校の様に子供の事をしっかりと考えてくれる学校
- ・明るくて信頼関係がありきれいに整備され防犯対策がきちんとされている学校
- ・明るい雰囲気
- ・子供達が学ぶことを楽しいと思わせるような学校
- ・子供の性格を理解したうえで やる気を引き出してくれるような教育をする学校
- ・いろんなスポーツが盛んな学校 (スポ少が少ないので)
- ・子供が普通に行きたいと思える学校
- ・家から近く 雨風雪でも徒歩で登校ができる 1クラス 30名
- ・自ら学ぼうとする気持ちが養われる学校
- ・教育と教養がある学校
- ・大きくても小さくても楽しく充実した学校生活ができること (学習以外の勉強ができる環境)
- ・勉強は競わなくても身につくが運動は競うことも必要だったりするので人数はいたほうが良い
- ・各人の個性を良い方向に導いてくれる学校
- ・小規模校
- ・素直で優しくたくましく育つような学校
- ・子供の事を第1に考えて温かい目で見守ってくれる学校
- ・児童・保護者・先生が信頼し合える学校

- ・先生方がもっとビシビシ叱ってよいと思うので子供にやりたい放題にさせない 先生をもっと上に見せるような学校
- ・色々と選べる学校
- ・大規模校とはいかなくても 各学年2クラス以上あって 子供同士で刺激しあい 考え方に広がりを持たせられる学校

3 「小規模校、小集団であること」「大規模校、大集団であること」のメリット・デメリットはどんなことだと思いますか？

1) 「小規模校、小集団であること」

・メリット

- ・個々に目が届く
- ・行事やその他活動においてもまとまりやすい 団結力がある 行事が行いやすい
- ・何事にも全学年で協力し合って取り組める
- ・一人一人の結びつきが強くなる
- ・子供達が他学年と交流を持つ機会が多くて良い
- ・先生や児童がみんな顔見知りになれる
- ・一人一人と関わる時間が持てる
- ・一人一人に目が届く
- ・クラス替えがないのでみんな仲良くなれる
- ・先生・児童・保護者が仲が良い 距離が近い
- ・子供たちの名前も覚えやすいので声をかけやすい
- ・先生が親の顔を覚えてくれる
- ・色んなことを自分たちでやれる 人任せにしない
- ・人任せにならず 個人が責任感、役割を推進できる
- ・子供が素直
- ・学年を超えた交流が多く 上級生としての自覚や下級生が上級生を見本として学ぶことができる
- ・授業のスピードを個人に合わせて行うことができる
- ・先生と生徒の統率や連携が取りやすい
- ・個人の学力が把握でき 個別に指導が可能である
- ・その子自身に関心を持って先生が接してくれる
- ・友達が関わってくれる
- ・いじめが少ない
- ・子供同士の関係性が見えやすいのでトラブルを最小限で解決しやすい
- ・一人一人が責任を持って活動できるので大勢の中に行っても自信を持って活動できる
- ・地域の方が大切にしてくれる
- ・学習面の効率が上がり 地域密着で子供の心が養われる
- ・保護者同士が仲良く 運動会の場所取りが楽
- ・担任以外の先生方も子供一人一人を見てくれる
- ・子供達も安心しながら 友達と関わり 学習の理解を深めて行く事ができる
- ・自覚や責任感も芽生えやすい

・デメリット

- ・人減関係が決まってしまうと色々な考え方に触れるチャンスが少なくなる 挽回が難しい
- ・人に揉まれない 競争力がない 刺激が少なくマンネリ化してしまう
- ・デメリットはない
- ・クラス替えができない
- ・人減関係が狭い 固定化されてしまい多様な意見に触れることができない
- ・仲が悪くなると居場所がなくなる ・親の負担が大きい P T A活動など保護者の負担が大きい
- ・団体競技ができない
- ・刺激が少ない 馴れ合いになりすぎて 中学校に行ってから不登校が心配
- ・友達関係でつまずいた時 逃げ場がない 人数が多ければ他の友達に行くことができるがそれができない
- ・悪い子は目立ちやすく 標的になりやすい 敵ができる
- ・知り合いばかりで言いづらいことがある
- ・新しい友達作りができない
- ・時勢の都合に左右されやすい 既に幼稚園は統合され 保護者の仕事と子供教育のバランスが取り難い環境になる
- ・スポーツ 遊びが決まってしまう (選択の枠が決まってしまう)
- ・大きな集団での生活において 順応していけるのか
- ・友達と遊ぶことが少なくなる (遊べる人数が少ない)
- ・協調性が乏しい
- ・競争心があまりないので多数になった時に力を出し切れない
- ・運動会 鼓笛などさみしい感じがする 鼓笛でトランペットがなくなった
- ・当番がすぐに回ってくる
- ・授業でチームが組めなかつたりして試合などは 多学年と一緒にないと出来ない
- ・設備面において最新のものではない
- ・狭い世界で自分が1番とっていて 大規模になったらつぶれそう
- ・

2) 大規模校、大集団であること」

・メリット

- ・運動会・鼓笛などの行事が活気のある行動になる それを通して 集団・クラスの一体感を得られる
- ・集団力が理解できる
- ・合唱・合奏・水泳大会など子供の活動の幅が広がる
- ・クラス替え・人減関係が多様 いろんな人から刺激を受けられる (良くも悪くも)
- ・競争ができる 競争によりたくましくなる 切磋琢磨しあうことができる
- ・中学校と同じ雰囲気です授業を受けられる
- ・P T Aの負担が軽減される
- ・ある程度 指導力のある先生が担任になる
- ・友達を多くつくれる
- ・集団活動に活力が生まれ 競争心向上や色々な考え方に触れることができる

- ・色々な人に触発され チャレンジ精神やもっと上を目指そうという気持ちが強く持てると思う
- ・色々な人がいることを学べる 刺激が多い
- ・最新の設備で学習できる
- ・色々な人と触れ合うことで 子どもの資質や能力を伸ばしやすくていい
- ・豊かな人間関係を育むことができる
- ・保護者全員の名前と顔が一致するまで時間がかかる
- ・色々な行事・種目がやりやすくなる
- ・社会での集団生活の中における人との関わりに活かしていける期待が持てる
- ・たくさんの人の中から 気の合う友達を見つけられる
- ・通学で1人になることが少ない
- ・多様性が学べる
- ・大勢の中に入っても 物おじしない

・デメリット

- ・子供一人一人の把握が難しく 特に消極的な子に寄り添えなくなる
- ・勉強のできない子が置いて行かれる
- ・学校みんなでの活動は無理
- ・保護者間 地域の連携が取りにくい 保護者との意思疎通が難しい
- ・地元がおもしろいということ子どもに教えにくい
- ・先生の目が届きにくい
- ・通学が遠くなる
- ・個人に対し 教育の質が下がる
- ・けんかやいじめなどの人間関係が心配
- ・他人まかせになる 責任感がなくなる
- ・授業についていけない 学力の差が出る
- ・地域のつながりがなくなる
- ・行事に参加する保護者が少なくなる
- ・集団に埋もれやすい 一人一人が目立たない
- ・トラブルが見えにくい 多くなる
- ・協力心に欠ける まとめるのが大変
- ・周知や理解が合わせられない
- ・トラブル・いじめなどを話すことができない（児童・保護者）
- ・子供の親も派閥ができる
- ・他学年との交流がなくなる
- ・親同士の関わりが薄くなる
- ・人との関係性が薄くなる PTAなど横の関係が薄くなる
- ・児童の個性がつかみにくくなる

4 「適正規模・適正配置」対策(統合や新たな学校配置など)を考える必要があると思いますか？

- ・世帯数 57 回答数 45

a 必要だと思う	10/45
b 必要ない	23/45
c その他	10/45
無回答	2/45

1) ① a 必要だと思うとお答えの方、なぜ必要だと思えますか？

- ・子供の伸びる力を引き出すには 今よりもう少し人数の多いクラスの方が 多様な考え方・経験に触れられるため
- ・色々な感性を理解し 人と触れ合う経験をするには もう少し人数が多い方が良い
- ・地域によってですが 少なくなる方向にあるので 学校行事 修学旅行 色々な部分で物足りなくなると思う
- ・大きな集団に入った時に適応するまで時間がかかる
- ・このままでは子供がもっと少なくなることだし 少なすぎる人数では個人の負担も大きいと思うため
- ・児童数の減少
- ・あまりに少なくなると その時の児童や保護者に与えるデメリットが多くなってしまう
- ・地域の方や親は地元で学校をと思いますが 子供達本人の事を考えると 児童数が本当に少なくなってしまう時には 行事などや学習面でも統合せざるを得ないのは仕方ないのかなと思う
- ・小規模校のメリットはもちろんあるが このままだと小規模とはいえ 子どもの数が少なすぎる

② どのような「適正規模・適正配置」が 望ましいと思えますか？

- ・各学年 最低人数20人は必要
- ・少ない学校を統合する
- ・中学校区と同じ 1学年100人規模で4クラス
- ・スクールバスなどを配置し 安全性も確保したうえでの運行
- ・熊小と関小の統一するのも一つの手だと思う
- ・各地域に学校はあってほしいのが本音で 地域の学校が良いと思うが 学校全体での行事など難しくなった場合 統合もある しかし 人数の多い学校に人数の少ない学校の児童を入れるかたちにはあまり賛成できない いじめが当たり前の中で 差別があってはかわいそうである そのままの学校を使うのではなく 改修や事前指導をしっかりしてからやるべきである
- ・中学校区位の統合が一番望ましいと思う

2) b 必要ないと思うとお答えの方、なぜ必要ないと思えますか？

- ・今のままでよい 今が良い 今がベスト
- ・これから先 子どもの数が減って行く事を考えれば統合なども必要かもしれないが 通学の便を考えると 今のままでもよいと思う
- ・人数が少なくなっても その地域には欠かせないものだから なくしてはいけないと思う 地域の方も母校ということがあって そこに通う子供たちだから 孫の様に見守ってくれていると思う
- ・統合すると 家から学校が遠かったりするので 子どもも親も大変です 現在の小規模校でとても楽しく 先生方もひとりひとり目配りして良く接してくださるので 今のままでよい
- ・今のところ適正だと思う
- ・大集団になってほしくない

- ・少人数の方が授業もわかりやすいし一人一人教えてもらえる
- ・登下校が不便になる
- ・少人数でも もっとこれ以上少なくなっていったら考えたほうがいいのでは
- ・もし 他の学校と一緒になった場合登下校が歩いて通えなくなるとどうなるか心配がある
- ・地元の影響で育てるのが一番
- ・デメリットよりメリットの方が多い
- ・今までの学校を守るため
- ・社会の都合で 子どもたちの本当の子供らしさがなくなってしまう
- ・地域密着で育てて行く事が 豊かな心を育てるから
- ・通う学校が遠くなる もっと子供の数が減ってきたら必要かもしれないが まだそこまでではないと思う
- ・いまの現状は 保護者 地域住民として メリットの方が大きいと思う
- ・今現在困っていることはない
- ・小学校がなくなったら 町の活気がなくなってしまう
- ・とりあえず 35年度までは現状を維持できそうだから
- ・今年で最後なので

3) c その他とお答えの方、どのようにお考えですか？

- ・今 現在は必要ないと思います。今より人数が減ることがあれば必要になってくると思います
- ・現状では必要ないと思うが これ以上少なくなってしまうなら検討しなければいけないと思います
- ・今すぐには思っていないが 1学年が1ケタの人数であれば必要になってくると思う 子どもが少なすぎても困る
- ・今のところ分からない まだどちらとも判断できない
- ・個人の意見が反映されない事が幼稚園で分かったので 決定機関がもっと考えて 良案を決定してくれればよいと思う
- ・今は10人以上いるが 各クラスこれ以下になったら考えたほうがいい
- ・ある程度の人数がいないと何をするにも大変なのかと思いますが やはり通わせるのは近くの方がいい
- ・どちらにしても メリット・デメリットが出てしまう
- ・今は特別必要だと思わないが 今後人数が極端に少なくなったら必要なのかなと思う

5 小・中学校「適正規模・適正配置」に対するご意見をご自由にお書きください。

- ・せっかく 意見の聞き取りをしているのだから 「やっぱり統合・廃校で 以前と変わらないじゃないか」一応聞き取りをしたというような 意味のない話し合いにしないでほしい
- ・適正規模・適正配置が必要になるということは それだけ少子化が進んでいる…淋しいですね 統合されることになった際は 通学の安全や学習面でプラスとなるようなことをしていただきたい (クラスに数人の先生にいてもらうなど)
- ・結果による判断から何が変化し 何に活かされているのかを明確にしなければ ただアンケートをするだけになることにはしないでほしい 子どもを持つ親としては一つ一つに考えを持ち回答しています ただの集計、多票のひとつにしないで物事を進めていただければと思います
- ・できれば クラス20人はいてほしい

- ・喜多方市の財政の対策で適正規模・適正配置の議論がなされているのか疑問を持ってしまいす
少子化なので大変だと思いますが…何より子供のことを第一に考えて議論されることを願います
- ・環境・設備ともに悪い点はないと思う
- ・この先、統合・廃校など 学校環境が変わるようになる時は、事前に他校と交流する機会をたくさん持ってほしい 三中生になった時に すぐなじめるように（修学旅行・学年行事など合同で行う）
他校との交流が 差別・いじめの対策になると思う
- ・熊倉小学校児童は、他校の児童と比べるとおとなしい
- ・統合の可能性があるのならば 三中学区がよい 新しい学校でスタートさせたい
- ・「適正規模・適正配置」は 必要に応じて進めてほしい
- ・関柴小学校に来てほしい
- ・きちんと保護者の意見を尊重してほしい
- ・熊倉小学校をなくさないでほしい
- ・未就学児保護者にも意見を聞いてほしい
- ・小学校全体での窓口はないのか？
- ・人数の少ない学校が人数の多い学校に吸収されるのは 子どもにも親にもいろいろな面で負担になるのは間違いない 思い切って新しい学校にみんなでスタートしたらいいと思う
- ・大きすぎる学校も考え物だと思う 目が届かない
- ・色々なところで このような問題があり 統合された学校があるが その後の児童・保護者の精神的な負担は どこも大きいと聞いている そのことを一番に考えてほしい
- ・統合の経験をした 子ども達や保護者がその環境に慣れるまで 3 年はかかっている 事前準備は時間をかけて行うべきだと思う
- ・大きな学校（人数の多い）に小さな学校（人数の少ない）が統合されるのは、差別につながり いじめに繋がるきっかけになり得ることなので 簡単に統合してほしくない
- ・学校が遠くなり スクールバスで登校とかになると 運動能力 体力の低下につながるのではない
か
- ・「適正配置」やはり 町に一つは小学校があっていいと思う
- ・一番は子どもたちで 子どもにとってどのような環境が一番なのかを考えてほしい
- ・町にとって 小学校はとても大事なものだと思う 保護者として住民として 無くしてほしくない
- ・人数が多ければいいものでもない
- ・そもそも喜多方市の規模であれば どのくらいが「適正」なのか 基準がわからないのに意見を求めるのは違和感がある

6 その他の喜多方市への要望

- ・教室の環境整備
- ・老朽化対策
- ・少子化対策
- ・労働環境
- ・熊倉小学校東側の学校入口の道路が狭い 雪道になるとすれ違うのが難しい（三中も）
- ・熊倉小学校の裏の現児童館入口（元幼稚園）の砂利道が凸凹で困っている 舗装なり補修をしてほしい

喜多方市小中学校「適正規模・適正配置」について 熊倉小学校保護者話し合い

熊倉小学校PTAは、事前アンケートを行い、それを基に7月10日（火）話し合いを行いました。
遅くなり申し訳ありません。アンケート結果と話し合いの結果をまとめ提出いたします。

保護者の方は、何より、この話し合いがきちんとした意味を持つのか、ただ単に、「保護者からの意見を聞いた」「教育委員会としては…話し合いの場を設ける努力をした」などという形ばかりのものにしてほしくないという思いが強いです。

「自分たちの問題なのだから、話し合いに参加するのは当たり前だろう」などという教育委員会のありきたりな感覚で進めてほしくない、「喜多方市の財政問題の事で子供たちを巻き込んでほしくない。教育の現場として考えてほしい」など、話を進めるにあたっての意見がありました。

「どうせ意見を出したとしても、喜多方市の都合のいいように進められて、「意見は伺いましたが…」で終わるんだ。私たちが意見しても意味がないことは、今までの市のやり方を見ればわかる。」
とされている方が多いのは事実です。それは、喜多方市が信用されていない部分でもあると思います。

その民意をしっかりと受け取り、民意を反映した^{まったりごと}政にして頂きたいと保護者一同 願っております。

話し合いの場所も熊倉は、関柴小学校体育館となっています。こういう話し合いは、学校を使うのではなく、市の会議室など学校ではない所の方が良いと思います。

昨年度の説明会の時、関柴小学校体育館で話をしましたが、参加者は、ほとんどが熊倉。何故だかわかりますか？関柴の方は、「統合になったら、熊倉が関柴に入る形になるから、別にいなくてもいい。」
とされている方が私の周りに数名いらっしゃいました。熊倉の方も「関柴に来いって、まるで熊倉が関柴に統合されるみたいな集まりだ。上下関係ができる。」など、思っていた方も多いです。
微妙な思いでいらっしゃる方の気持ちも考えてほしいと思います。

この問題は、喜多方市の問題だと思いますが、それに振り回される保護者、そして何より、環境が変わる子供たちの精神面をしっかりと考えた上で、後からのフォローではなく、悪い方向にならないための事を先に考え、たくさんシュミレーションして、進めていただきたいと思えます。

以上、話し合いの結果を見る前に、保護者から喜多方市へ「適正規模・適正」を進める上での意見、思いを書かせていただきました。
よろしく願いいたします。

熊倉小学校PTA

＜第三中＞ 平成30年6月15日（金）

- ・小学校も三中程度の規模にできれば満足。
- ・若い世代の保護者の意見を反映させたい。
- ・生徒数減少で部活動の選択肢が少なくなってしまう。

- ・ P T A 役員が不足する。
- ・ 少人数の学校は、人間関係もよくデメリットばかりではなかった。
- ・ 少人数だからできることもあった。発言の機会も増えた。
- ・ 複式にならない程度なら、現状のままでよい。
- ・ 人数が少ない中から選ばれた役員なので、意識が高い。
- ・ たとえば、自分の子供を学年 2 人しかいない学校に通わせたいか。
- ・ 熊倉と関柴どちらかに統合は難しい。特に年配者は。
- ・ 新しく別の小学校を作るのであれば。

<疑問点>

- ・ 統合になったらスクールバスは出るのか。
- ・ 統合は・子供たちの考えより、地域の思惑が重視されてしまうのではないか。

【会北中学校区】

<熱塩小>

1. 期 日 平成 30 年 7 月 4 日(水)
2. 時 間 14:45~14:40
3. 場 所 体育館
4. 参加者 保護者 16 名 教職員 8 名 計 22 名
5. 話し合い

①保護者の方々から出された疑問点

- ・ アンケート結果を、今後どう生かしていくのか？
- ・ 統合について、新しい学校が作られるのか？
- ・ 旧市内には混ざれないのか？あくまでも、今ある中学校区での統合になるのか？

<加納小> 平成 30 年 7 月 11 日(水) 授業参観日 (学級懇談会にて)

1 意見

- なるべく歩かせたい。学校を拠点にして (集合して) そこからスクールバスで登校させてはどうか。(1 年)
- 中学校で部活動を選べないのはかわいそう。(1 年)
- 早めに実施してほしい。(1 年)
- どの程度の統合なのか分からないので、考えにくい。(2 年)
- 通学が心配だ。(2 年)
- モデルがあれば考えやすい。(2 年)
- 会北中学校含め、地域から学校がなくなると、地域が廃れる。(6 年)
- すぎっここども園で熱塩学区の児童と一緒にだから、地域の統合は賛成。(6 年)

- 大きな学校でもまれて強くなるのも大事だが、この規模の中学校だからこそ育まれるものもあるのではないかと。(6年)
- 早く統合を実施してほしい。(さゆり)

2 疑問

- どの学校(校舎)を使うことになるのか。(1年)
- 交通手段はどうなるのか。(自転車で行かせたいところだが、スクールバスを使うようになるのだろうか)(1年)
- 行政の人が「すぐに統合するわけではない」と言っていたが、それを決めるための話合いと捉えていいのだろうか。(4・5年)
- 次の話合いはいつあるのか。(4・5年)
- 熱塩加納地区での統合の流れとなるのか、上三宮も含め松山への統合となるのか、それによって話が変わってくる。(6年)

<会北中> H30,7,7(土) 実施

1 PTA 役員会より

- ① 対策を考える必要があるという意見
 - ・ 部活動の団体競技等、人数がいないと成り立たない。
 - ・ 会北中になく部活動に入りたい生徒が他の中学校に行ってしまう。
 - ・ 高校進学の際に、少人数の環境から大人数の環境に変わるの心配なので、中学校も人数が多い方が良い。
- ② 対策を考える必要がないという意見
 - ・ この地域の子供が純朴で良く育っているのは、地域の環境の良さであるので、他の学校と合併するのは反対である。
 - ・ 少人数だから、先生方の目が行き届いている。
 - ・ 小さい学校だから、一人一人が役割を持つことができる。
 - ・ この学校がないと通うのが遠くなる。

2 学年保護者会より

- ① 対策を考える必要があるという意見
 - ・ 今後は大きな学校の分校扱いにしたほうが良いのではないかと。
 - ・ 小中一貫校で、多くの児童生徒と交わる機会を増やした方が良い。
 - ・ 小学校は、二つの学校の統合で良いのではないかと。
 - ・ 熱塩小と加納小が他の小学校と統合したとき、交通手段はどうするのか。
 - ・ 現状だと学習面の競争が足りない。
 - ・ 20人の中で過ごしやすいが、社会に出て行くためには大人数の中で競争心を持たせることも必要である。
 - ・ 少人数だと人間関係面が難しい。
 - ・ ずっと同じ人間関係だと、子どもの世界も狭くなってしまふ。大人数で生活させるのが良い。
 - ・ クラス替えを体験させたい。
 - ・ 小さい学校だと部活動の選択肢が少ない。
- ② 対策を考える必要がないという意見
 - ・ 中学校は今ままで良い。少人数なので、発表する力もつくのではないかと。
 - ・ この学校がないと通うのが遠くなる。
 - ・ 地域に学校がないと、若い人が戻ってこないのではないかと。
 - ・ 人口減少になる心配がある。
 - ・ 運動会などで、お年寄りの方とのふれあいが大切である。

3 学校評議員会より

- ① 対策を考える必要があるという意見
 - ・ 生徒数減のどこまでが限界なのかを考えてボーダーラインを引くことが必要

である。

- ・ 統廃合された場合、スクールバスや運転手の確保等、交通手段確保が必要。
 - ・ 統廃合された場合、地域の活動が現状維持できるよう、行政側の努力が必要である
 - ・ 子育てしている親の世代の意見を拾ってほしい。
- ② 対策を考える必要がないという意見
- ・ 学校がなくなると、地域の活動が停滞する。地域住民の生き方にも関わってくる。

【塩川中学校区】

＜堂島小＞ H30. 7. 9 PTA全体会にて

- ・ 本校は、地域に密着している学校であり、このまま残して欲しい（周りの学校との関係もあるが）。
- ・ 今のままの方が子どもにとっていいこと。
他校の保護者からは、昨年度に中学校で行われた説明会でも、子どもが少なくと集団活動ができない（もまれない）という意見も出されたが、地域の方との活動が多い堂島小学校はこのままでよい。
- ・ 他校では、人数が増えすぎて目が届かないのではと言うことで、学力が心配という保護者もいるようである。あえて実家のある小規模校に通わせているという保護者もいる。
- ・ 本校では、中学校で大集団になるのでそこでもまれる。小学校のうちは、大人との関わりを持つものもよい。
- ・ 他校の小規模校では、人数も少なく合同で学年行事を行っているところもある。
- ・ 小規模校だと中学校に行くと初めて大集団になる。小学校のうちから少しでも、大集団に慣れておくことも必要である（行事等を一緒に 行うなど）。

＜塩川小＞

塩川小学校では、7月10日（火）の第1学期末懇談会全体会の中で、PTA会長から「小中学校適正規模適正配置」について、保護者への説明を実施し意見を求めました。

しかし、保護者からは特に意見はでませんでした。本校の保護者は、学校規模から考えて他校が本校に統合することはあっても、本校が無くなるという意識はないため、あまり関心が高くないのかもしれませんが。市教委からいただいた資料は事前に配布してあったのですが・・・。

学校統合については、①河東学園小学校のように、旧町内が1つにまとまってスクールバスの運用に伴う一斉下校等の実施、②坂下町の小学校統合のように、町内を2つの小学校区に分けて再編成するなどの具体的な事例が提示されないと、対岸の火事の意識となってしまう危機感がなくなるのではないかと考えます。

＜姥堂小＞ 回収 保護者会アンケート24件、教育委員会アンケート 6件 合計30件
問1 姥堂小学校について、適正規模・適正配置の対策の必要が？（24件）

ある 9

- (1) 他校との合併 8
・少人数も良いところはあるが、人数がいれば、集団で帰宅できるのにな。
・いずれは、小中一貫校とか、
- (2) 学校周辺環境の整備 2
- (3) 通学範囲の再構築 2
- (4) その他 0
※ (1)～(4)は複数回答。

ない 8

- ・少人数の良さ。しっかり学べて、中学校へ行けた。地域ぐるみで子供を育てられた。
- ・中学で大人数にいきなりなるのは大変だとは思う。
- ・規模は小さくても、子供達はのびのび生活できるので、このままでよい。
- ・皆仲良しでアットホームな小学校がなくなるのは寂しい。
- ・皆でいろんな行事を学校全体で取り組む姿勢が良い。
- ・デメリットはあるが、少人数ならではのまとまりもある。
- ・バス通学での不登校が多いといった話も聞く。各地域に学校が残ってほしい。

わからない 7

- ・合併できればしたほうが良いのかな？ただ、少人数の良さもある。人数が増えることに不安もある。部活は多いほうが良い。
- ・人数が少なくても大丈夫。みんな仲が良い。ただ、塩川町内で4校は多いと思う。
- ・先生によく見てもらえる小規模校のほうが良い。運動会や学習発表会での出番も多い。成長する。

教育委員会のアンケートに回答した方（6件）

小学校の合併の必要がある。	2
小学校の合併の必要がない。	2
小学校の合併の必要は分からない。	2
中学校の合併の必要がある。	0
中学校の合併の必要がない。	6

総合

合併の必要がある。	11
合併の必要がない。	10
分からない。	9

<駒形小>

ご意見

- 合併も1つの方法である。 7
- 現状維持 19
- 児童数減少がとても気になる。親の負担も大きい。 6
- 少人数の良さを生かしてもらいたい。 2
- 児童数が少ない。 1

課題

- 通学・校舎をどうするか。 1
- 今後は、合併を考える必要がある。 1
- 児童数を増やす努力が必要である。 2
- 単学級なので、子供たちがもまれない。成長がない。 3

- きめ細かな指導、地域と密着した指導を進めてもらいたい。 2
- 塩川中学校区の交流を増やしてもらいたい。 2
- 複式学級にはしてほしい。 1
- 統廃合を解決策にしてほしい。 1
- どこの学校でも、希望入学にさせてほしい。 1
- 地域の力の低下が気になる。 1
- 学校が遠くなる。通学方法はどうか。 2
- 統合の進め方が難しい。 2
- スクールバスの再検討が必要である。 1

<塩川中>

- 1 実施期日 平成30年7月13日（金）14：50～
- 2 会場 塩川中学校体育館
- 3 出席者 本校保護者約70名、本校教職員20名
- 4 内容等 市教委よりの資料を配付し、意図等の説明後、意見を募った。
出席者より質疑や意見等はなく終了した。

【山都中学校区】

<山都小>

1. 臨時PTA役員会

日 時：平成30年6月19日（火）18時30分～19時10分

- 適正規模・適正配置資料から、今後の山都小学校の在り方について
 - ・ 少子化が進み、この6年間で山都小学校は20～30名の児童数減となる。メリット、デメリットがあり、PTA 役員の率直な考えを市に報告していきたい。
 - ・ 現在2年生は8名と少ない。これから増える見込みはなく、中学校3年生まで、このまま学校生活を送ることに心配な面がある。保護者は「さらに人数が減ると転校させたい」と広がっていくことも考えられる。
 - ・ 「地元から小学校をなくす」ことはしたくない。高郷小学校と統合が考えられるが。
 - ・ 高郷小中学校との統合も考えられるが、どちらに校舎が新設されるか、学校名はどうか考えると住民感情に大きく遺恨が残ることが予想される。
 - ・ 小中一貫校や義務教育学校も考えられるのではないか。
 - ・ 平成31年度まで山都小学校は児童数100名を上回っているが、その後は減少する。山都中学校の生徒数は、さらに減少していく。中学校の部活動は、現在男女2つずつである。中には、あまり興味のない部活動で「やらされている」と感じている生徒もいるようである。生徒数が多いと、部活動も増え、選択の余地が出てくるのではないか。
 - ・ 7月6日に第1学期保護者懇談会の全体会と学級懇談会が行われる。その際にも話題としていきたい。

2. 保護者懇談会

日時：平成30年7月6日（金）16時10分～16時40分

- ・ 2学年（児童数8名）において、中学校入学時に人数が少ないことが心配なので、統合したほうがよいとの意見が出された。

<山都中>

懇談日時 平成30年7月7日（土）

保護者会全体会 15時15分～ 保護者35名

P T A三役会 18時30分～ 役員 6名

※ 三役には事前に資料配付

① 保護者の方から出された意見

- ・ 仮に高郷地区との統合では、統合しても学級数が増えるのも一時期だけで、また、学年1学級になってしまうのではないかと。統合のメリットが見えてこない。
- ・ 統合すると通学に時間がかかり、部活動や諸活動の活動時間などが短くなるなどのデメリットが考えられる。
- ・ 現在の山都中の生徒数（57名）において、学習面や生徒指導面ではきめ細やかな指導を受けることができるメリットがあるが、特別活動の部活動を考えると選択種目が少なすぎて（男子は剣道と野球、女子は剣道とバレーボール）デメリットとなっている。
- ・ 小規模校は保育所・こども園時代から固定化した人間関係があり、いったん問題が発生すると解決が難しくなるケースがある。その点が現在の山都中の課題だと思う。
- ・ 現在の山都中のメリットを生かしながらデメリットを補う方法として、部活動だけを喜多方市全体で編成し、個々人のやりたい部活動（運動部・文化部）をクラブチームのように選んで活動させることが良いと思う。この方法が実現できれば、学習に関するきめ細やかな始動度部活動の選択、人間関係のトラブル軽減につながるのではないかと。

② 保護者の方から出された疑問点

- ・ 統合を進めるとしたらどの学校と統合を進めていくのか。

【高郷中学校区】

<高郷小> 平成30年7月6日（金）実施

○ 保護者の方々から出された意見

- ・ いろいろな子どもたちとふれあわせたい。（1年）
- ・ 子どもの数が少ないからこそよい面がある。今のままでよいのでは？（1年）
- ・ 子どもと親の負担が増える。（1年）
- ・ 小学校はこのままでよいが、中学校は一緒になってもよい。（1年）
- ・ 生徒数が少ないと部活ができないので、中学校は考えなくてはならない。（1年）
- ・ 少しずつ人数を増やしていけばよい。（1年）
- ・ 通学時間が不安（1年）
- ・ いきなり人数が増えるとストレスになるのでは（1年）
- ・ 地域ごとの色があるので合わないことが不安。（1年）
- ・ 小学校に関しては、他の町村等と統合したりするより、1つの学区で小中を1つにする方法がいい気がする。（2年）
- ・ 人数が少ない為に子どもたちの選択肢（学習面・部活面）が少なくなっている。（2年）
- ・ 大きい学校では、子どもたち自身の集団生活が強化され、よい面もあるし、小さい学校では、先生の間も行き届き、子どもたちのチームワークも強く、いい面がある。この問題自体が非常に難しい。

(2年)

- ・喜多方市に限らず、親が行かせたい学校に入学できるようにしたらいいのではないか。(3,4年)
 - ・山都と統合した場合、そこの親(PTA)とうまくやっていけるのかが心配。(3,4年)
 - ・小さい学校ならではのよいところがある。(3,4年)
 - ・義務教育の間くらい、小さいけれど地域に密着した学校で過ごさせたいので、統合には反対。(3,4年)
 - ・高校に入ったときに、大人数の生徒に慣れないと思うので、多くの人と交流する機会を設けてほしい。(3,4年)
 - ・小学校は残したい。(5年)
 - ・中学校での複式は望まない(5年)
 - ・中学校のスクールバスを望む。(5年)
 - ・学校がなくなってしまうのは寂しいが、統合はやむを得ない。(6年)
 - ・子どもの数が少なくなっていることを考えると、統合も仕方ない。(6年)
 - ・小規模でもとてもよい面がある。(6年)
 - ・学校がなくなるというのは、地域もなくなる様な気がする。(6年)
 - ・小規模だと、部活動等の選択肢が狭まってしまう。(6年)
 - ・小学校は、必要だと思う。(6年)
 - ・小学校がなくなると過疎化が進んでしまうと思う。(6年)
- 保護者の方々から出された疑問点
- ・三箇所(高郷、山都、岩月)の統合後の評価を、教育委員会がしていないので、どう考えているのか。(6年)

<高郷中> 7月7日(土)開催

【中学校1年生】

◎意見

- ・5年後に生徒数が半減するので、子どものことを考えると小中一貫がよいと考える。
- ・過去の市内の合併で、対象となった子どもたちがどのようになったのか(学力、体力、いじめなど)のメリットとデメリットをデータで示してほしい。
- ・人数が少なくさびしい部分もある。揚津など西会津や山都に行った方が近い地区もある。近い方の学校に入れたいと思うことがある。通う学校を選べるような特例があれば良いと思う。

△疑問点

- ・スクールバスが出る地区と出ない地区の基準が分からない。

【中学校2年生】

◎意見

- ・統合するならスクールバスを出してほしい。
- ・小中一貫校もあるのか。
- ・統合なら通学など子どもたちの負担が増えるのではないか。バスなら直線的な運行をお願いしたい。
- ・中学校での複式は厳しいと思う。
- ・中学校で部活を選べない。

- ・ 統合になるなら中学校は高郷、小学校は山都といったようにできないか。（どちらを高郷に残したい）
- ・ 小学校では統合を希望する人が多かった。
- ・ 統合によって地域が衰退する。地域がなくなる恐れがある。
- ・ 統合によって、地域の方との関わりが難しくなる。
- ・ 小学校では、小学校を残し、中学校は山都などという話があった。
- ・ 今まであった学校がなくなるというのは簡単なことではない。
- ・ 高郷小に統合する前、複式学級で臨時採用の先生が次々に替わることがあったので、中学校では複式にしないでほしい。

△疑問点

- ・ 生徒数が減れば教員数も減るのか。
- ・ 中学校で複式学級もあるのか。

【中学校3学年】

◎意見

- ・ 小学校は残してほしい。現状維持で
- ・ 統合は仕方ないのかなと思うが、地域に小学校がなくなるのはどうかと思う。
- ・ 中学校は部活動が少ないと選択できないのでやむを得ないか。しかし、その場合はスクールバスの整備が必要である。
- ・ 総合的に考えていくと中学校の統合は仕方ない。
- ・ 中高一貫教育だとよいと思う。
- ・ もし山都中と統合だと、高郷の人数が少ないので心配だ。

△疑問点

- ・ 統合するなら山都中なのか？
- ・ 統合の時期はいつになるのか？
- ・ 統合するならスクールバスの配置はどうなるのか？

【学年懇談会後の役員会にて】

- ・ どのような日程でやっていくか具体的な流れが見えない中で不安がある。期限が来たから決定であるというような進め方はしてほしくない。
- ・ 今回の意見が記録され、取り上げられたという扱いになってほしくない。しっかり議論すべき場所できっと向き合っていたらと思う。
- ・ すでに統合に向けて進んでいるということか。